きんせいうらがきじんでん

#17 近世浦賀畸人伝

作者：樋口有柳（ひぐち・ゆうりゅう　1764？-1835）
成立：文政 11 年（1828）－ 文政 12 年（1829）

◇◇◇

に天保に改元）夏以後であろう。

■　作者

作者は樋口有柳。通称吉左衛門、号は陶亭。相模国東浦賀の干鰯（ほしか）問屋惣代の一人で、しばしば地元古文書の連署に「樋口屋吉左ヱ門」として現われる。他の著作に『石叟居士追善 くきらの跡』の編著がある。

自序の後にある挿絵「浦賀湊風景」は、谷文二（1812-1850、谷文晁の長男で弟子）の 18 歳頃の作品である。

📖　本文を読む

＜翻刻＞

高橋恭一「近世浦賀畸人伝」（『三浦古文化』第３巻 三浦古文化研究会 1967）［K20.3/3/3］

📖　参考文献

高橋恭一「近世浦賀畸人伝」（『三浦古文化』第３巻 三浦古文化研究会 1967）［K20.3/3/3］

『近世浦賀の文化史』川島孝平著 浦賀古文書研究会 1979［K91.31/3］

杉仁「在村文化の海路交流と書物出版活動」（『近世の在村文化と書物出版』杉仁著 吉川弘文館 2009）［023.1/415］

海原亮「「近世浦賀畸人伝」の文人たち」（『新横須賀市史　通史編　近世』横須賀市 2011）［K21.31/34/3-2］